

Postwar Japan

# アンチ・アクション

Anti-Action: Artist-Women's Challenges and Responses in

Akana Keiko Akutagawa (Madokoro) Saori Enomoto Kazuko Emi Kinuko Kusama Yayoi  
Shiraga Fujiko Tada Minami Tanaka Atsuko Tanaka Tazuko Tabe Mitsuko  
Fukushima Hideko Miyawaki Aiko Mōri Mami Yamazaki Tsuruko

山崎つる子(作品)1964年、兵庫県立美術館蔵 ©Estate of Tsuruko Yamazaki, courtesy of LADS Gallery, Osaka and Take Ninagawa, Tokyo



彼女たち、それぞれの応答と挑戦

赤穴桂子 芥川(間所)紗織 榎本和子 江見絹子 草間彌生  
白髪富士子 多田美波 田中敦子 田中田鶴子 田部光子  
福島秀子 宮脇愛子 毛利真美 山崎つる子

2026/3/25/水——5/6/水・振休

休館日:月曜日[ただし5月4日(月・祝)は開館]  
開館時間:10時-18時[入場は17時30分まで]

Mar. 25 – May 6, 2026 Closed on Mondays (except May 4) Opening Hours: 10:00-18:00 (Last admission 30 minutes before closing)

主催:兵庫県立美術館、朝日新聞社  
協賛:公益財団法人伊藤文化財団、株式会社アトリエ安藤忠雄  
特別協力:公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

Organized by Hyogo Prefectural Museum of Art; The Asahi Shimbun  
Sponsors: Ito Cultural Foundation; Atelier Tadao Ando  
Special cooperation: Japan Educational Mutual Aid Association of Welfare Foundation, Hyogo Branch

兵庫県立美術館  
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

戦後まもなく、前衛美術の領域で大きな注目を集めた女性美術家たち。その自由な実験が、十分に目を向けられてこなかったのは何故でしょうか。当時、女性の活躍を後押ししたのが、海外から流入した抽象芸術運動「アンフォルメル(非定形)」と、それに応じた批評言説でした。しかし、次いで「アクション・ペインティング」が導入され、豪快さや力強さといった男性性に結びつきやすい「アクション」が評価の中心となるにつれて、結果的に多くの女性美術家の作品が見落とされてゆくことになりました。本展では『アンチ・アクション』(中嶋泉「本展芸術協力者」著、二〇一九年)のジェンダー研究の観点を足がかりに、一九五〇〜六〇年代の日本の女性美術家による創作活動を見直します。「アクション」の時代に別のかたちで応答し、独自の抽象表現を展開した14名の作品および120点を紹介。半世紀以上を経ても驚くほど新鮮な「彼女たち」それぞれの挑戦にご注目ください。

関連イベント

記念講演会  
 出演：中嶋泉(大阪大学大学院人文科学研究科准教授、本展芸術協力)  
 日時：4月19日(日)14:00-15:30(開場13:30)  
 会場：KOBELCOミュージアムホール  
 定員：150名  
 ※先着順、要観覧券、芸術の館友の会優先座席あり  
 ※追加イベントの予定は決定次第、美術館HPでお知らせします。

同時開催の展覧会

コレクション展Ⅱ  
 兵庫のベスト・オブ・ベスト  
 1月14日(水)~4月5日(日)  
 2026コレクション展Ⅰ  
 4~9月[予定]

Ando Gallery  
 当館2F(入場無料)  
 横尾忠則現代美術館で開催  
 大横尾辞苑  
 1月31日(土)~5月6日(水・振休)

観覧料(税込) Admission (tax included)

	当日	団体	前売
一般 Adults	1,600円	1,400円	1,400円
大学生 College students	1,000円	800円	800円
高校生以下*	無料	—	—
70歳以上 Over 70 years old	800円	700円	—
障害者手帳等をお持ちの方(一般)**	400円	350円	—
障害者手帳等をお持ちの方(大学生)**	250円	200円	—

\*Visitors who are under high school students will be admitted for free.

\*\*Disabled people with ID booklets will have discount.

- ・前売券販売期間：12月24日(水)から3月24日(火)まで
- ・一般以外の料金でご利用される方は証明書を観覧当日ご提示ください
- ・障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料
- ・コレクション展は別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引があります)
- ・団体は20名以上 団体鑑賞をご希望の場合は1か月前までにご連絡ください

※チケット販売場所等の詳細は美術館HPでご確認ください

[交通案内]

- ・阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分
- ・JR灘駅南口から南に徒歩約10分
- ・阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
- ・JR三ノ宮駅から神戸市バス(29・101系統)にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)
- ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。
- ※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1[HAT神戸内]  
 1-1-1 Wakinhohama Kaigan-dori, Chuo-ku, Kobe City 651-0073  
 TEL: 078-262-1011(代) HP: <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>



- 赤穴桂子《スペースに於ける物体》1958年 個人蔵
- 芥川(間所)紗織《スフィンクス》1964年 東京国立近代美術館蔵
- 榎本和子《断面(1)》1951年 板橋区立美術館蔵
- 江見絹子《空間の祝祭》1963年 個人蔵
- 草間彌生《マカロニ・コート》1963年 板橋区立美術館蔵 ©YAYOI KUSAMA
- 白髪富士子《作品No.1》1961年 高松市美術館蔵
- 多田美波《周波数37303055MC》1963年 多田美波研究所蔵 撮影：中川周
- 田中敦子《地獄門》1965-69年 国立国際美術館蔵 ©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association
- 田中田鶴子《無》1961年頃 奈良県立美術館蔵
- 田部光子《繁殖する(1)》1958-88年 福岡市美術館蔵
- 福島秀子《ホワイトノイズ》1959年 栃木県立美術館蔵
- 宮脇愛子《作品》1967年 撮影：中川周
- 毛利眞美《裸婦(B)》1957年 東京国立近代美術館蔵